



熊本県立水俣高等学校

水俣市洗切町 11-1
電話 0966-63-1205

利用される図書館をめざして

本校全日制は普通科、商業科、機械科、電機建築システム科の4学科に在校生410人が在籍している。昨年度の生徒一人あたりの貸出冊数は10.6冊あり、生徒たちは図書館をよく利用している。朝の10分間読書にも力を入れている。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休校の期間もあったが、生徒たちはよく本を借り、2月末現在では10.4冊(生徒一人あたり)の貸出である。生徒の「読んでみたい」という気持ちに応えるためのリクエストに対しては、購入や相互貸借で応えている。

また授業で活用される図書館であるためには、蔵書は幅広い分野にわたり、かつ専門分野においてはより高度な内容のものも求められる。しかし、現在の蔵書は約2万冊とまだ十分とはいえない状況にある。今回、読書教育重点校としていただいた図書カードでは、英語力向上に役立つ資料として、生徒に親しみのある『えいごでよむディズニーえほん』シリーズや『バイリンガル版コミックスベストセット』、国語科の授業に活用できる『はじめての百人一首』、『ことばの力』などの本を購入した。以下は、購入した本を活用した授業の実践報告である。



「百人一首の解説本をもとに、プレゼンテーションを行う授業」

熊本県立水俣高等学校 教諭 古賀一恵

1 学校の教育目標

校訓「自律・敬愛・創造」のもと、文武両道の教育をとおして知・徳・体の調和がとれ、自ら考え、学び、夢に向かって真摯に行動する力を備えたグローバルリーダーの育成を目指す。

そのため、全教職員は一体となり、教育者としての使命感と愛情を持って、家庭・地域社会との連携を深めながら、魅力ある学校づくりに努め、本校教育の充実・発展を図る。

令和2年度教育スローガン

「今を大切に ～Seize the day!～」

2 今回の取組

(1) クラス 1年4、6組 26名

(2) 単元 「百人一首」

(3) 生徒観

1年生の商業科と電気建築科の合同クラスである。生徒の学力の差が大きい。また、授業への取り組み方にも差があるクラスである。

そのため、班活動やスピーチなど、自ら学ぶ活動を工夫してきたクラスである。

(4) 今回の取組

百人一首を題材に、『はじめての百人一首』(すずき出版)を活用して百首の中から一首選んで班でまとめ、プレゼンテーションを行うという活動に取り組んだ。グループに分かれ、手順を確認した後、一首選び、『はじめての百人一首』の該当ページをコピーして、歌意や作者についての解説を読み、他の資料も参考にしながらプレゼンテーション原稿を書いたその後はプレゼンテーションに使うまとめ用の紙(A3)4～5枚に、まとめた内容を書き、みんなに見せながら発表を行った。

